

# futbol y vida



Poco a poco ...  
boco y boco ...

“鬼門”の選手権予選初戦突破!!  
次戦では勇敢に挑戦して勝利する!!

選手権予選初戦は、苦しんだゲームを“2-1”勝利で飾る!!

次戦の調布南戦に向けてメンタル面“超”強化!! 俺たちはできる!!



<2021 選手権一次トーナメントがスタート!! 本番で力を発揮できてこそ“真”の力である!!>

8月27日(土)、第100回選手権大会東京都予選一次トーナメントが、都内各グラウンドでスタートしました。片倉高校サッカー部はホームグラウンドで今年度下馬評の高い明治学院高校とのゲームです。この夏の成果と地の利を生かし、勝利を目指してキックオフを迎えました。

お互い初戦の緊張からかミスを恐れて全体的に消極的なプレーが目立ちました。それでもチャンスが多く作ったのは片倉でした。GKを交わし絶好の先制のシュートを外すとそれが伝染したのか、放ったシュートはバーやポストを直撃し、ゴールマウスを捉えきれずにスコアレスのまま時間が経過します。勝負ごとにタラレバは禁句ですが、このゲームでどれか一本でも決まっていれば…という場面が何度もあり、前半は「運」にも「サッカーの神様」にも見放されたように感じました。本来であれば、この悪い流れを変えられるリーダー(三年生)がいるといいのですがその強いメンタリティを獲得するには、三年間かけて日々の生活から地道にコツコツ積み重ねていく必要があります。自分の立てた目標に向かって「志」と「覚悟」を決めて無我夢中に突き進んできたかどうかなのです。現サッカー部にはもう少し時間が必要です。

ハーフタイムには、朝の集合時にホワイトボードに書いた「敵は己の心にあり!!」について話し、「自分を信じ、仲間を信じて闘え」とメンタル面についてのみ指示を出して送り出しました。

## 本番(公式戦)で力を出し切れてこそ“真”の力である!!

後半は相手のプレスが強まりましたが、ゲームは片倉のペースで進みました。立ち上がり直ぐのチャンスでもシュートはバーを二度叩くなどゴールが近く感じてきました。すると後半8分にサイド攻撃の零れ球をキャプテン小林凌(3年)が放ったシュートが決まり、待望の先制点が生まれました。これで勢いに乗りたかったのですが、ミスをきっかけに相手にCKを与えると、見事なボレーシュートを決められゲームは振り出しに戻りました。恐らく、後半最初に打たれたシュートだったように思います。クーリングブレイク(3分間の休憩)を挟み残りは17分。下馬評の高さから苦戦を覚悟していましたが、いい意味で想定外の展開で片倉が主導権を握っていたので、勝負は相手に傾きかけた流れをこちらに再び引き寄せられるか否かでした。この日の暑さと前からのプレスの影響で、少し相手の足が止まってきた後半30分、右から大村(2年)のセンターリングを中で片倉(2年)が合わせて遂に勝ち越しゴールを奪いました。その後も一進一退の攻防が続きましたが、最後は勝利に向けてチーム一丸となって闘い抜き、**2-1**で選手権初戦を白星で飾ることができました。



次戦は、二週間後の**9月12日(日)**、同じ七地区の強豪校**調布南高校**と対戦します。

公式戦というプレッシャーの掛かる中でも、平常心で日頃から積み上げてきたものを全て出し切れて初めて本当の力が身に付いたと言えます。そのためには、やはり日頃の生活や取り組み姿勢が大切なゲームに現れます。上手くいかなかった時、追い詰められた厳しい状況の時にこそ人間の素が出るものです。なぜなら、サッカーは人間のやるスポーツなので、技術はもちろん大切ですがトーナメントのような一発勝負では、最後はそれを上回る心の部分が大きなウェイトを占めます。土壇場で力を発揮し成功するかしないかは、技術ではなく最後はその選手の人間性が大きく影響するといえます。今回の初戦を見ていて更に精進が必要だなと感じました。

しかし、公式戦の勝利は、子どもたちにとって何よりも自信となり成長に繋がります。まずは選手権二次トーナメント進出という目標に向けて、今回の反省を活かし、二回戦までの一日一日を積み重ねていきたいと思います。<MGのお守り>

### <待望のゴールに歓喜の輪ができる>



### <After the Game>

今年度も、選手権予選が無事にスタートし、初戦を勝利で飾ることができました。保護者の皆様には無観客試合ということで試合の結果も様子も大変気になったことと思います。今大会も、運営側の意向にご理解・ご協力していただきましてありがとうございました。

さて、対戦相手の明治学院の**柿本先生**と私は同級生であり、教員駆け出しのころからの付き合い(**悪友**)ですが、公式戦で対戦したのは初めてで、実はここにも**“負けられない闘い”**がありました。

今回は対戦相手にも関わらず、本番三日前にグラウンドの下見に来た時に怪我をしている片倉高校の選手たちに治療を施してくれました。そのお陰で初戦の出場を絶望視していた**山下(3年)**が見事に復活し、当日はプレーで恩返し?できました。子どもたちには敵味方分け隔てなく接してくれた柿本先生の心の広さを感じて欲しいと思います。やはり、「**持つべきものは友だちですね!!**」

さて、選手権予選二回戦は**9月12日(日) 11:15 kickoff**で、同地区で常にサッカーでは前を行く**調布南高校**とアウェーでの闘いとなります。勇敢に闘えるようしっかり準備をしていきたいと思います。応援宜しくお願いします。



<柿本先生が治療する>